

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	英語発表会				所管	教育委員会 指導課		
	行政計画	事業NO.	—	計画事業名	(行政計画外事業)				
	長期総合計画体系	[基本目標]							事業の開始・終了年度
		[小 柱]							
		[施 策]							
	根拠法令等	その他		[法令等名]	要綱等なし				
	事業対象	区立中学校生徒で希望者							
	事業目的	英語学習の成果を発表することで、学習意欲を高め、生徒や学校間の交流を深めるとともに国際理解教育の充実を図る。							
事業内容	各中学校や生徒個人の英語劇や英語のスピーチを発表する。 (対象)全区立中学校全学年 (会場)生涯学習センター ミレニアムホール								
委託の有無	一部委託		委託内容	英語を母国語とする外国人(複数名)により中学校英語学会の発表内容(英会話の発音・会話能力・表現力等)について審査する。					
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称		(単位)	目標値 (31年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	開催回数		(回)	1	1	1	1	
		参加生徒数		(人)	90	90	50	90	
	決算額 (単位:千円)					75	105	115	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				170	160	178	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				75	72	72	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				0	33	33	
		総経費				245	265	283	
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
		その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				0	0	0	
一般財源(区負担額)				245	265	283			
前回評価から改善した事項	パンフレット数を増刷し、観客数増員に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	日常の学習成果を発表する貴重な機会である。発表の場があることで、英語学習意欲の向上につながっており、また、区内中学校と交流する場でもあるため、互いに高めあうことができている必要がある。						
	効率性	3	区内施設を利用することでコストを抑えており、英語演劇で使用する材料等についてもコスト面を意識している。						
	手段の適切性	4	英語学習の成果をスピーチで発表し、英語を母国語とする外国人が審査をすることで、事業目的に沿った実施ができている。						
	目的達成度	3	選抜生徒がスピーチを発表することが出来ており、学習意欲を高め国際理解教育の充実が図られている。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
学習意欲を高め、国際理解教育の充実を図るために有効な事業である。教育効果を考え、事業規模を維持する。						維持			